

公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 助教 1名
2. 所属 システム科学技術学部 機械工学科※ 設計生産工学講座  
(※改組により平成30年4月発足)
3. 専門分野 設計工学分野  
放電現象やレーザー技術等の理解を基礎として、地域のインフラ（エネルギー）を支え、設計工学への応用に資する教育、研究、地域貢献に意欲を持って取り組む方を求めます。
4. 担当授業科目 (学部) 機械知能システム学実習、機械知能システム学実験、物理学実験、各種セミナー、卒業研究の指導・補助など  
(大学院) 各種セミナー、修士論文の指導補助など
5. 応募資格 (1) 博士の学位を有すること、または採用予定日までに取得見込みであること  
(2) 当該分野の教育と研究に熱意を持ち、地域貢献にも意欲を持っていること  
(3) 国籍は問わないが、日本語が堪能であること  
(4) 採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 平成30年4月1日
7. 勤務条件等 (1) 身分 公立大学法人職員  
(2) 給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制  
(3) 勤務 裁量労働制  
(4) 任期 5年の任期制(再任回数に制限はありません)  
(5) 定年 67歳
8. 応募書類 (1) 履歴書(本学所定の様式1\*による。)  
(2) 研究業績書(本学所定の様式2\*による。)研究業績は、①学術誌論文(査読付き)、②国際会議発表論文(査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの3編に○をつけてください。  
(3) 主要論文3編(コピー可)  
(4) これまでの研究、教育及び社会活動(地域貢献を含む。)の概要(1,000字程度)  
(5) 教育に対する抱負(1,000字程度)  
(6) 研究・地域貢献に対する抱負(1,000字程度)  
(7) 応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先  
(8) 科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧  
注) \*印: 履歴書(様式1)及び研究業績書(様式2)については、ホームページ(<http://www.akita-pu.ac.jp/>)をご参照ください。
9. 応募締め切り 平成29年10月31日(火) 必着
10. 選考方法 (1) 第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接  
(2) 第二次選考 プレゼンテーション、役員による面接  
※面接の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先 (1) 提出先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4  
秋田県立大学システム科学技術学部 本荘キャンパス 教員選考委員長 松本 真一  
※封筒の表に「機械工学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。  
応募書類は返却しません。  
(2) 問合せ先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4  
秋田県立大学システム科学技術学部機械工学科長 鶴田 俊  
TEL: 0184-27-2102(ダイヤルイン) E-mail: ttsuruda@akita-pu.ac.jp
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。  
(女性活躍推進行動計画: <http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/pdf/joseikatsuyaku.pdf>)  
(子育て支援等行動計画: <http://www.akita-pu.ac.jp/kosodate/kosodate.pdf>)

## 今回の公募で求める人材像

機械工学科では、学科の研究教育方針に基づき、さらに今後強化すべき設計生産工学講座における研究分野の観点を加え、放電現象やレーザー技術等の理解を基礎として、地域のインフラ（エネルギー）の保守・管理や機械加工への応用に関する研究、教育、地域資源活用、地域貢献等に意欲を持って取り組める人材を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は下記のとおりです。

### [教育]

本学科が目指す、機械と知能の融合による、人と環境に優しい機械システムに関する教育と研究の推進という理念を理解し、機械知能システム学実習や実験といった基礎教育に取り組み、秋田県で整備が進行中の地域のインフラ（エネルギー）を支える発電設備の保守・管理で、課題となる落雷等による損傷を解析する等の専門性を生かし、学生の地球環境問題の解決への意識を高める教育に貢献できる、意欲的な人材を求めます。また放電現象やレーザー技術等の機械加工への応用に関する教育にも熱意を持って取り組む人材を求めます。

### [研究]

機械工学科設計生産工学講座では、地域のインフラ（エネルギー）に関連する研究を行います。新しいシステム提案、既存システムの保守・管理に関する各種の検討を行うこととなります。エネルギー利用では、秋田県で整備が進行中の地域のインフラ（エネルギー）を支える発電設備の保守・管理で課題となる落雷等による損傷を解析し、予防的保守・管理を考えることが必要となっております。そのためには、放電現象等により機器類にどのような損傷が生じるかを予測する必要性が出てきております。こうした応用分野に加え、放電現象やレーザー技術等の機械加工への応用や、それらを用いた新規分野の開拓にも意欲的に取り組む人材を求めます。

### [地域貢献]

地域のインフラ（エネルギー）を支える発電設備の保守・管理で課題となる落雷等による損傷を解析する等を通して地域貢献を目指していきます。このような活動に専門性を生かして貢献できるような人材を求めます。

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

# 平成30年度 機械工学科 大講座制グループ構成(予定)

別紙2

基本方針: 機械工学科は3大講座制を継続し、地球資源・エネルギーの有効利用による、人と環境に優しい高度機械システムに関する教育と研究を推進する。

## 材料構造工学講座

- 応用材料力学研究グループ  
複合材料、弾性力学
- 先端材料研究グループ  
先端材料信頼性、先端材料創製

## 熱・流体工学講座

- 熱科学研究グループ  
熱科学、燃焼工学
- 流体科学フロンティア研究グループ  
流体科学機能ジェネレーション、生命流体科学

## 設計生産工学講座

- 応用機械設計研究グループ  
機械設計、高エネルギー密度応用プロセス、流体工学
- 先端加工研究グループ  
先端加工技術、ナノ/マイクロ加工